
岐阜県立飛騨高山高等学校

学校長 丹羽 俊文

学校住所 (岡本校舎) 高山市下岡本町2000-30 電話 0577-32-5320
(山田校舎) 高山市山田町711 電話 0577-33-1060

1 会議の名称 平成26年度岐阜県立飛騨高山高等学校 学校評議員の会議 (第1回)

2 会議の構成

委員	清水 洋子	地元企業役員
	白野登美子	高山商店街振興組合女性部
	谷口 寿夫	飛騨農業協同組合代表専務理事
	松川 英明	高山グリーンホテル常務取締役
	美素ひとみ	岐阜県指導農業士

(委員名は五十音順)

学校側	丹羽 俊文	校長
	宮田 典佳	副校長 (全日制山田校舎)
	和田 英宏	副校長 (定時制・通信制)
	岩佐 智子	事務長
	細江 雅紀	教頭 (全日制岡本校舎)
	高田 広彦	教頭 (全日制岡本校舎)
	瀬木 宏一	教頭 (全日制山田校舎)
	日江井孝浩	教頭 (定時制)
	金子 佳弘	教頭 (通信制)
	村田 和宏	教諭 (全日制岡本校舎・教務主任、記録)

3 会議の目的 学校運営等について、地域住民や有識者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。

4 会議の開催 平成26年6月20日(金) 13:30~15:20 飛騨高山高校 岡本校舎会議室
学校評議員5名と学校側10名が出席

5 会議の概要 (進行 高田教頭)

- 開会の挨拶 (宮田副校長)
- 学校評議員の委嘱
- 自己紹介
- 授業参観 (全日制・岡本校舎の第5限の授業)
- 学校説明 (丹羽校長)
 - 全日制 岡本校舎 (細江教頭)、山田校舎 (瀬木教頭)
 - 定時制 (日江井教頭) 通信制 (金子教頭)
- 授業参観の感想及び学校への意見・要望等
- 閉会挨拶 (和田副校長)

(1) 学校長挨拶・学校説明

本校は、高山高校と斐太農林高校の伝統ある両校が統合し、同時に斐太高校の通信制を移管して本年度10年目を迎え、10月4日には統合10周年記念式典を予定している。歴史がありながら新しく活気のある学校である。岡本校舎・山田校舎の2校舎、全日制・定時制・通信制の3課程、普通科・農業科・商業科・生活産業科の4つの大学科を持つ県下最大規模の学校で、現在千百人弱の生徒が在籍している。本校は「一つの学校」の中にたくさんの「引き出し」があり、学科の枠を超えた学習が可能であるなど、様々な可能性に挑戦することができ、「夢が実現できる学校」である。

学校教育の重点の中でも、特に「自ら学ぶ意欲と態度の育成」や「マナーを守り、人の気持ちがわかり、自らの考えを述べることのできる生徒の育成」に取り組んでおり、本校の数多くの「引き出し」の中にあるものを活用し、生きていく力を身に付けさせるよう努めている。また、「生徒が自慢の学校」であり、生徒の活動を積極的に地域に発信している。

教科指導では言語活動の充実を図る授業改善に取り組んでおり、自らの考えをしっかりと述べられる生徒の育成に努めている。生徒指導では最後まで指導し、決して見放さない指導を心掛けている。進路指導では将来の社会的・職業的自立に向け、2年生の最後には自分の希望就職先の会社名、進学希望先の大学・学部名が言えることを目指している。また、グローバルな人材育成にも努めており、山田校舎では本年度県教委から「専門高校生国際化推進事業」の指定を受け、7月には生徒と職員がフィリピンに派遣される。

職員には「教えるとは、希望を語り、励ますこと」という認識の上で、生徒の心に火をつける指導を実践するよう話している。また、生徒には「学ぶとは、誠実を胸に刻み、努力すること」と伝えている。生徒たちが、「自立力」「共生力」「自己実現力」を身に付け、将来の「地域社会人」となるべく努めている。

(その後、平成25年度卒業生の進路先と部活動のおもな成績について説明。)

(2) 授業参観(全日制 岡本校舎の第5限の授業と施設・設備を見学)

(3) 今年度の学校状況の説明

<全日制 岡本校舎>

- ・ 全日制のマニフェストについて簡単に説明。
- ・ 部活動では、女子ハンドボール部が3年連続13回目の県大会優勝で全国大会に出場する。硬式野球部も3年ぶりに地区大会優勝。レスリングでは、アジア大会で金・銀のメダルを獲得するなど顕著な成績を上げた。
- ・ 中学校時代に年間30日以上欠席があった生徒が3名入学したが、全員元気に登校している。クラスの居心地度調査では肯定的な評価が84%、否定的な評価はわずか2%だった。部活動に対する思い入れの違いから人間関係のトラブルがあり指導した。大量発生しているマイマイガを、本日から、MSリーダーズや風紀委員、美化委員とともに駆除するよう準備している。

<全日制 山田校舎>

- ・ 本年度、県教委から「専門高校生国際化推進事業」の指定を受けた。県下で専門高校4校が指定を受け、7月26日から6日間、生徒8名と引率2名がフィリピンに派遣され、植林等の就労体験と現地の高校生等との交流が予定されている。飛騨地区の産業や文化の発信や海外展開

する企業との交流を通じて英語力と国際感覚を身に付ける。また、県農業高校生海外実習派遣事業に、本年度も園芸科学科の2名の生徒が選ばれ、7月18日から8月8日まで、ブラジルとオランダで研修する予定。

- ・現在、各科プロジェクト学習に取り組んでおり、先日、中間発表会が開かれ、生物生産科の「全国農業高校お米甲子園」連覇を目指した取組など、意欲的な取組が報告された。

<定時制>

- ・中学時代には、教室に入れなかった生徒が毎日登校して授業を受けており、保護者は喜んでい
- る。学習面での学び直しの場合を意識し、どの教科もプリントを作成して授業を行っている。
- ・昼間は働き、夜間に学校へ来る生徒が多く、17時から給食、18時から21時まで頑張
- って授業を受けている。昨年度は上級学校に進学した生徒もいた。三修制と
- いって昼間は通信制の授業を受け、3年間で単位を修得して卒業する生徒もいる。

<通信制>

- ・ここ10年間はほぼ100名前後が在籍している。本年度は91名が在籍、内9名が休学している。
- 82名の活動生は15歳から63歳までの年齢で、18歳以上が41名、17歳以下も41名とい
- う構成である。また、1年次生の中学校時代の不登校経験者は70%、他校の中退者が30%で、
- 高卒資格をとるために頑張っている。
- ・自学自習が原則となるため、自ら学ぶ姿勢を育てる指導も行い、「気長」「丁寧」「親切」をスロー
- ガンに掲げ、スクーリングでの指導の他、レポートを通じての指導も大切にしている。先日は乗鞍
- 青少年交流の家での宿泊研修も実施した。

(4) 授業参観の感想および学校へのご要望・ご意見等

- 意見1 少人数授業はよい取組であり、普通教科の授業も生徒は熱心に取り組んでいた。専門科目では設備が充実しており、1人1台のパソコンを使って高度な内容に取り組んでいた。先生方も熱心で、生徒もきちんとしており、好感がもてた。
- 意見2 3年間でこれほど技術や技能が身に付くのかと感心した。社会に出たときには、これほど高度なことは要求されないことが多いが、大いに勉強して上を目指してほしい。
- 意見3 昨年は山田校舎、今年は岡本校舎の授業を参観したが、2、3年生になると随分高度な内容を学んでいるのだと感じた。本校の卒業生を採用しているが、企業側でも、もっと高度なことを要求してもよいと感じた。
- 意見4 高山は観光がメイン産業の一つである。6年後には東京オリンピックもあり、今後さらに英語力が問われる。外国人も多く、英語を磨いて活躍してほしい。英会話は授業でどの程度行われているのか。また、どの程度話せるのか。
- 学校側 今は英語の授業は、原則、英語だけで行っている。国も英語力の向上に力を入れており、県でも第2次教育ビジョンにおいて、その方向性を明確に示している。生徒はもとより英語の先生自身の英語力の向上も求められている。生徒は英語の授業は英語で行うことに対して、コミュニケーション能力の必要性を十分認識しており、積極的に関わろうとする意識はある。何とかその思いをつなげたいと考えている。英語を自分の気持ちを伝えるツールとし、外国人観光客にも英語で観光案内ができる力を付けさせたい。
- 意見5 高校生は小中学生とは違って挨拶が苦手であるが、本校の玄関に入ったとき、掃除をしていた生徒が手を休めて「こんにちは」と挨拶してくれたことが印象的であった。日頃の先生方の指導の結果であろう。授業では自分たちの高校時代とレベルの違いを感じた。他校と比較しても授業内容に遜色ない。英語の授業では、発音が素晴らしかった。数学でも難しい問題に熱心に取り組んでいた。
- 意見6 うちの会社でも卒業生を受け入れているが、自ら考え自ら行動する力が弱いように感

じる。何とかこの力を伸ばしたい。また、地域との連携や地域に活力を与えるような積極的な取り組みを通じて地域に活力を与えてほしい。話は変わるが、校舎内は大変きれいで、掃除も行き届いていると感じた。校舎外壁に、一部はがれている箇所があり、残念である。何とか修理できないか。

学校側 現在、3年計画で校舎外壁等の工事が進行している。昨年度は管理棟、本年度は教室棟、来年度は特別棟で工事が行われる。今年度は7月から工事が始まる予定で、御指摘の箇所は本年度中に完了する予定である。

意見7 学校の評判がよくなった。私も登下校の生徒とすれ違うが、以前と比べて生徒の服装は格段によくなった。入試でも志願者が多くなったと聞いているがよいことである。我が社でも本校生徒が入社しているが、男子は少しおとなしい。女子は明るく元気であり、もう少し男子に元気がほしい。また、要望として、卒業式の後、入社するまで自覚をもった生活を送るような指導してほしい。

意見8 知人から聞いたことであるが、部活動に関係したいじめがあり、ある部活動がなくなると聞いたがどうなのか。

学校側 部活動に対する思い入れの違いから人間関係のトラブルがあり指導したというのが、御指摘の件である。具体的には、同じ中学校の先輩が新入生に厳しく指導していたことを周囲が見て、いじめと感じたようである。学校としては、関係生徒に事実を確認したが、親、先輩、後輩の思いの行き違いであり、いじめではないと判断した。部内で解決が図られており、この件で当該部活動がなくなるということはない。

意見9 実習林の近くに住んでいるが、生徒が実習の帰り道にふざけて投げた泥団子が車に当たったことがあった。生徒に悪気はなく、学校にも連絡し解決済みだが、実社会では大きな事件につながることもあるため、落ち着いた行動ができる生徒を育ててほしい。

意見10 会社に本校の卒業生がおり、先日行われた F_NAVI に参加して在校生に話をした。その後、在校生からお礼の手紙をもらったが、「コミュニケーション能力が大事であることがわかった」と書いてあった。これからはコミュニケーション能力の育成が大切である。自分の思いが相手に伝えられる力をつけさせてほしい。

意見11 今はわからないことがあると、すぐにインターネットで調べるようであるが、直接、上司に教えてもらったり、聞いたりすることも大事である。人とのつながりや心の通じ合い、協調性が大切である。確かに機械はすごいが、部活動などを通じて、人間味、人と人とのつながりを一番大切に、人間として生きていく力を育ててほしい。

意見12 学校評価アンケートについて、1回だけの会議では、資料にあるアンケートに回答するのが難しい項目が多い。「E」の「わからない」という回答になってしまってもよいか。

学校側 わからない項目については「E」と回答していただければよい。アンケートの内容については、今後検討する。

6 会議のまとめ及び閉会

本日は、貴重な御意見をいただきました。学校で十分検討したいと考えております。第2回は、1月23日（金）の学習成果発表会の日に開催する予定です。